

授業改善推進プラン

第3学年

	指導方法の課題分析	目指す授業の改善計画	備考
国語	<p>○意味が分かるように音読したり、文節をとらえて正確に音読することができるような指導が必要である。</p> <p>○話し方、聞き方の観点を意識しながら、自分の伝えたい内容を、はっきりと伝えることができるように指導法を改善する。</p> <p>○語彙を増やす指導の工夫が必要である。</p> <p>○書くことへの抵抗感を下げ日常的に書くことに慣れていくようにする指導が必要である。</p> <p>○漢字習得に向けての指導の工夫が必要である。</p>	<p>○読み方の技術指導、間違えずに読むことに重点を置きを、音読指導を行う。</p> <p>○対話や小グループでの話し合い活動を取り入れて、自分の考えを伝える場面や友達の考えを聞く場面を多く設定する。</p> <p>○国語辞典を使う学習活動を日常化したり、読書活動の充実を図ったりする。</p> <p>○児童が取り組みやすい形でグループ日記を取り入れ、書く機会を多くとる。</p> <p>○漢字ミニテストを繰り返し行うとともに再テストを工夫し学び方の指導を行う。</p>	<p>○音読の日常化</p> <p>○スピーチ活動</p> <p>○作文指導</p> <p>○漢字ミニテスト</p>
社会	<p>○学区域や立川市の様子、地域の人々と自分たちの生活に関心を持ち主体的に学習を進め、興味関心を持続できる身近な学習課題の設定が必要となる。</p> <p>○校外学習の際の目的を明確にし、見通しをもち、見学などができるようにすることが必要である。また、地域への理解と知識をもてるようにする。</p> <p>○自分の住んでいる地域に関心・意欲をもち、学習したことが生活に結び付くように、教材提示、授業展開を工夫が必要である。</p>	<p>○「自分たちの生活が社会とどう関わっているか」という視点で「工夫や願い」に気付くことができる出来事や写真を提示し、学習課題の設定を支援する。</p> <p>○めあてを明確にした導入を工夫し、学習活動を分かりやすくさせるとともに、補助教材を適切に用いる。</p> <p>○児童にとって身近な資料を用意し、地図の見方を理解し、地図を用いながら、生活と学習がつながっていることを実感させるようにする。</p>	<p>○新聞作成</p> <p>○ワークシート</p> <p>○地域地図</p> <p>○タブレット教材</p>
算数	<p>○算数の問題を身近に感じ、意欲的に課題に取り組むことができるような態度を育てるための学習支援、学習活動を工夫していく必要がある。</p> <p>○相手に分かるように自分の考えを発表し伝えることができるように自分の考えを事前にノートに書くなど指導の工夫が必要である。</p> <p>○既習事項の定着のために、ミニ復習を継続的に取り入れる。</p> <p>○ノート記述の雛型などを提示し、見て分かりやすいノート記述ができるようにする。</p> <p>○計算のきまりの指導を継続的にしていくことが必要である。</p>	<p>○長さ・時間・かさ・円・分数・演算決定などについては、日常的に指導を行うとともに、授業においては具体的な場面を課題として提示するようにする。演算決定の言葉に着目させる。</p> <p>○問題場面をイメージすることができるように場面図、テープ図で考えることができるようにする。</p> <p>○必要に応じて個別指導、補助ワークやカード、ヒントカードなどを使い、習熟に合わせて意欲的に学習を進めることができるようにする。</p> <p>○計算のきまりは数量単元ごとに確認し、継続的に計算練習をする。</p>	<p>○ヒントカード</p> <p>○既習事項計算プリント</p> <p>○ノート雛型提示</p> <p>○補充ワークやカード(九九表など)</p>
理科	<p>○観察や実験に対する意欲を継続し、思考につなげていくための工夫が必要である。</p> <p>○実験の手順は「何のための実験か」を明確にし、実験道具の扱い方など初歩の知識を身に付けることができるようにする。</p> <p>○予想、実験、結果、考察の流れをつかむようにする。</p>	<p>○ねらいを明確にし、予想を話し合ったり、実験結果から分かったことを自分の言葉で表したりする場面を作る。</p> <p>○実験の結果をしっかりと記録したり、観察の視点を明示し観察カードにかくことができるようにする。</p> <p>○おもちゃ作りの活動を通して学習したことを楽しみながら復習できる場面を多くする。</p>	<p>○ワークシート(予想や実験の結果が書きやすい)</p> <p>○観察カード</p> <p>○市販教材セットの効果的な利用</p>
総合	<p>○事象の提示から、児童が課題を設定することができるように、支援していく必要がある。</p> <p>○調べた課題のまとめ方や発表について、様々な方法を取り入れ、選択することができるようにする。</p>	<p>○自分の課題を調べるための方法として、本を読んだり、専門家に話を聞いたり、インターネットで調べたり、実際に植物を育てたりする経験を重ねさせる。</p> <p>○個人やグループなど活動形態を工夫し、協働的な活動を行う。</p> <p>○まとめや発表会を意識させ、調べまとめたものをよりよく伝えようとする工夫や適切な作業を選択することができるようにモデルを示す。</p>	<p>○調べ学習の基礎</p> <p>・本の探し方</p> <p>・百科事典</p> <p>・タブレット</p>
音楽	<p>○リコーダーの演奏技術の個人差に対応するための指導法の工夫が必要である。</p>	<p>○リコーダーを演奏する際の基本を確認・徹底し、進度に合った教材を使いながら、確実に演奏できるようにする。</p>	<p>○リコーダーの基礎を身につける。</p>
図工	<p>○材料や用具の特徴を理解し、適切に使ったり、工夫して活用することができるよう指導する必要がある。</p>	<p>○材料に触れあったり、用具に慣れたりする時間を大切に、色や形の組み合わせ、手触りなどの感じを捉え、イメージと関連させていく。(形の柔らかさ、色の暖かさなど。)</p> <p>○木切れ、くぎ、のこぎり、金づち、水彩絵の具などの基本的な扱いに慣れ、自分の表したいものが表せる喜びを味わわせていく。</p>	
体育	<p>○児童が興味・関心・意欲をもって取り組むことができる指導方法、場の設定を工夫する必要がある。</p> <p>○チームゲームを通してルールや活動についての工夫を行うことができるようにするとともに、協力してゲームを進めていくためにどうするかを考える必要がある。</p>	<p>○グループで活動する機会を計画的に取り入れ、友達相互で認め合ったり、教え合ったりできるようにする。</p> <p>○チームゲームで学習カードを使用し1時間ごとのめあてづくりや振り返りを行い主体的に活動することができるようにする。</p> <p>○チームゲームでは、児童の実態に合わせて規則を工夫し、安全に運動するためのきまりなどについて指導する。</p>	<p>○学習カード活用</p>